この街にこの人あり

みどりを守り、ふるさとを育てる

淀川正進さん

今回は、杉並区で、自然と文化財の保護活動を行われている淀川正進（よどがわ・まさよし）さんを、荻窪3丁目の「角川庭園・すぎなみ詩歌館」での竹垣補修作業中にお尋ねして、お話を伺いました。

どのような動機で活動を始められたのですか？

私は、生まれも育ちも荻窪です。子どもの頃は近くには田んぼが多く、蛍も飛んでいました。65歳で会社を退職した時、子どもの頃から興味があった自然環境保全に関わる活動をしたいと思いました。そのために、自然に関する研究会に所属して勉強しました。そして、座学だけでなく、実際に自然に触れ、歴史・文化と共に保全していくことが必要だと考え、活動を始めました。

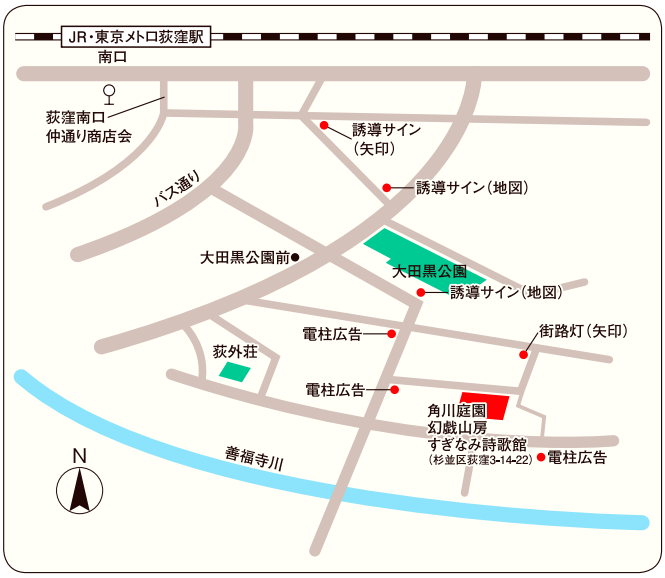
団体としての活動は？

竹垣の補修作業

2006年度に実施された『すぎなみ地域大学』の講座の修了生を中心に、NPO「すぎなみ学びの楽園」を立ち上げました。「角川庭園・すぎなみ詩歌館」、「ゆうゆう梅里堀ノ内館」の管理・運営委託を受けて、自然・文化に関する講座の運営・講師をしたり、地域の皆さんの交流を図ったりもしています。皆さんもご覧になっていると思いますが、「すぎなみ景観ある区マップ」の編集もしているんですよ。「住んでよし、学んでよし、心のふるさと杉並を作ろう」がモットーの一つです。

最も力を入れておられる活動は？

自然文化事業部を作って、杉並区民の方々を中心に、近郊の自然豊かな地域を案内して、自然や歴史に触れてもらっています。緑を保全して、できるだけ自然を残したい。子ども達に「ふるさと」をもってもらいたい。虫や生物も含めて自分の住む地域の自然やまちを好きになって欲しいのです。蛍を親子で飼育して、いのちの大切さを知ってもらう活動もしています。多くの方々に参加していただきたいと思っています。

自然文化探索会

連絡先：090-1127-5396
mail：m.yodogawa@kf7.so-net.ne.jp